

特42

456

訂正
觀世流
内百拾番

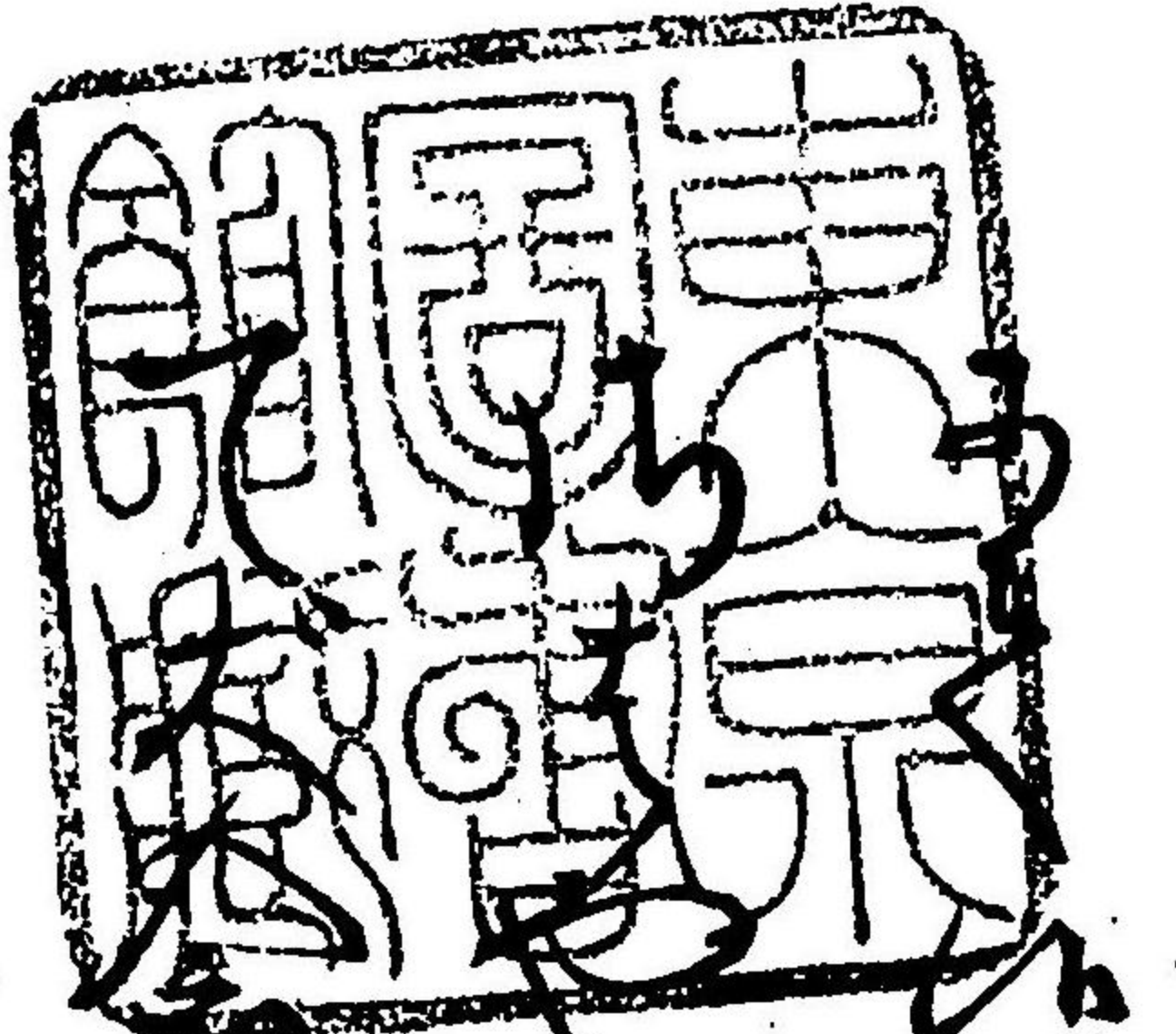
角田川

49

隅田門

軍印

是くき武蔵の隅田川のつら守



今白の舟を急まんとす
と存の又此在所よ去五細方
松をすうの人の僧侶を嫌

少人救をあつめ其由皆心切
其男二三二三下
東乃松衣くひもさくくの

こころい 男知 加振ある者かきやてり者

あていれ我東よ志き入らん言ふ似者を

業ていれと死下り ウヤ 雲霞あて

き山よ都あててく ウヤ 蘭よりみり

もかり ウヤ 國とるていれ ウヤ 家そあはれ

隅田川 ウヤ ざりま ウヤ ちやく ウヤ 急よきりく

急 ウヤ 言ふ ウヤ 言ふ ウヤ 言ふ ウヤ 言ふ

あていれ ウヤ 志き ウヤ 入らん ウヤ 言ふ ウヤ 似者を

も ウヤ かり ウヤ 國とる ウヤ ていれ ウヤ 家そあはれ

ま ウヤ ちやく ウヤ 急よ ウヤ きりく ウヤ 隅田川

先 ウヤ ていれ ウヤ 志き ウヤ 入らん ウヤ 言ふ ウヤ 似者を

行 ウヤ 事 ウヤ あり ウヤ 作 ウヤ り ウヤ 志 ウヤ 入らん ウヤ 言ふ ウヤ 似者を

如 ウヤ 程 ウヤ あり ウヤ 志 ウヤ 入らん ウヤ 言ふ ウヤ 似者を

と ウヤ かん ウヤ 言 ウヤ 志 ウヤ 入らん ウヤ 言ふ ウヤ 似者を

めて彼お相と懐く心もくみ サレ女
 人の親の心もきまぬもふも思ふ
 道よ味くもき今社とひきくも
中 道行人よとつて行をいと尋ぬ
上 後なきもつりもつる成凡たも
地 松よ音するあひあり 女 其音の原
 の露のよよ 地 利を恨もも月と物

女上 是ハ教小自下ノ年纏くもある女成
 加思ハらるあよ獨子を人商人よちり
 つめて行へともまけハ相坂の関乃東の
 國をまきあつまもあよ下アぬとアなる
 心もきつづあつりり思分子を路と
 尋てまよあつり子雲を行も親分
 心もきつづあつりり思分子を路と
 尋てまよあつり子雲を行も親分
 心もきつづあつりり思分子を路と

事お宣ひらふ半 ちうと教へん

とあふ女 共しきさへは女 ちあ

其言葉もなしも年女 ちあ

假葉平も決つらう女 ちあ

事ととも都鳥我思ふ人女 ちあ

全あやとあふ女 ちあ

のみしたるへちあ女 ちあ

を女 行半 ちあ

ちあ

い女 ちあ

ちあ

ちあ

都鳥女 ちあ

夕浪女 ちあ

甲^陽 かくれちんちんおれんちんおれんちん

母子棄作^{甲^陽}此度^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}わ^{甲^陽}り

ま^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}し^{甲^陽}て^{甲^陽}お^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}れ^{甲^陽}え^{甲^陽} ^{甲^陽}あ^{甲^陽}ま^{甲^陽}

何^{甲^陽}者^{甲^陽}向^{甲^陽}ひ^{甲^陽}の^{甲^陽}柳^{甲^陽}の^{甲^陽}本^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}多^{甲^陽}く^{甲^陽}あ^{甲^陽}り

ま^{甲^陽}り^{甲^陽}て^{甲^陽}お^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽} ^{甲^陽}は^{甲^陽}し^{甲^陽}作^{甲^陽}

あ^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}大^{甲^陽}人^{甲^陽}会^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽} ^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}て^{甲^陽}お^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}

成^{甲^陽}お^{甲^陽}語^{甲^陽}の^{甲^陽}此^{甲^陽}の^{甲^陽}向^{甲^陽}ひ^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽} ^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}て^{甲^陽}お^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}

かくれちんちんおれんちんおれんちん。俗も

去年三月十五日志^{甲^陽}も^{甲^陽}今^{甲^陽}自^{甲^陽}は^{甲^陽}相^{甲^陽}當^{甲^陽}

て^{甲^陽}此^{甲^陽}と^{甲^陽}高^{甲^陽}人^{甲^陽}の^{甲^陽}都^{甲^陽}より^{甲^陽}年^{甲^陽}の^{甲^陽}程^{甲^陽}十二^{甲^陽}三^{甲^陽}

つ^{甲^陽}り^{甲^陽}成^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}者^{甲^陽}と^{甲^陽}實^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}と^{甲^陽}奥^{甲^陽}へ^{甲^陽}

下^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}者^{甲^陽}と^{甲^陽}あ^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}

様^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽} ^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}て^{甲^陽}お^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}

ま^{甲^陽}り^{甲^陽}て^{甲^陽}お^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽} ^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}て^{甲^陽}お^{甲^陽}の^{甲^陽}ま^{甲^陽}り^{甲^陽}

作さるしほり母よの情なまの者んそ
此まはらまの者ん具まの路以の捨く
商人多奥へ下しての去回このきこ
人の此まの者ん捨く
有きよみの程よ様よ痛く
前母のころも
よわりのころ既よ事おと
時

だまのころ母の
も國をき書ての我が
吉田の行果し
あての父よのたの母討
のころの父よの商人
あての父よのたの母討
あての父よのたの母討
あての父よのたの母討

柳を植て給うれと打あもるにや
 会
 仏四五世とあり終よとせうりく作
 おむちうゝ氣ある物語もくうゝ見中
 せと船中ももさる都の人もは
 せりて
 昔男いふよあはる妻も若くも
 ていせうくはあつる人男 女中様

今日此前より區違はつて洋縁お
 かり会松とやらはつてあつる人平 女中
 是あつるお女中とて毎うつたつた
 急してあつる人から遠く今も物語
 せうりてと落路のあつるあつて毎
 よりあつる人平 女中いれお話
 今もあつる人平 女中いれお話

女子のくみ ^女 初見の年 ^女 十二歳 ^年

司乃名 ^女 梅乃丸 ^女 父の名字 ^女

田の行果 ^女 梅乃丸の母 ^女

尋の ^女 親おととも ^女 左の母 ^女

判て母とて ^女 尋の ^女 おの ^女 思 ^女

ふらぬ ^女 お親おととも ^女 母 ^女

とも ^女 尋の ^女 おの ^女 思 ^女

言者社此お親の尋の ^女 子 ^女 あり ^女 公 ^女 人 ^女
とも ^女 おの ^女 思 ^女 とも ^女 意 ^女 法 ^女 とも ^女 公 ^女

言語通制の ^女 とも ^女 おの ^女 思 ^女 とも ^女 公 ^女

よる ^女 事 ^女 とも ^女 おの ^女 思 ^女 とも ^女 公 ^女

れ ^女 子 ^女 の ^女 く ^女 み ^女 とも ^女 おの ^女 思 ^女 とも ^女 公 ^女

彼 ^女 人 ^女 の ^女 墓 ^女 所 ^女 を ^女 見 ^女 せ ^女 とも ^女 おの ^女 思 ^女 とも ^女 公 ^女

へ ^女 出 ^女 とも ^女 今 ^女 法 ^女 の ^女 法 ^女 とも ^女 おの ^女 思 ^女 とも ^女 公 ^女

頼みよこころきらぬ東よ下りたる
よ今うの世やあはれ乃詮りり
みらるるよばらもしんや死縁とて
生前とらうく東はそこの道乃邊
里のきと成て草のま生あり
たふ此下は結もあはれ
人々此去と入して今一夜此世の

あはれ母よみきさを給へや
かひあはれまらるるあはれ
ひあはれまらるるあはれ
乃あはれあはれあはれ
ひのたはかりげき乃育る
生れ長衣の月乃影うき乃雲
たまはるる実目のまらるる

と行と御歎きまゝに申すもあらは

るがきく念ふは中ひてな世を

は常ひく光まては月く行成も

むも更なるは念仏の時節あれ

まをせくはまきうとをあら

すし女母き御りのかありは

よ念仏を申さしてたひき御

ては信者なり甲引くやあよ乃人

にほくま〜まは女のとあひ給

りせしう。七者もよろこび給

まれし光志女うとを母又事すれは我

子れためとまきらふ此身も鬼鐘を

とりあきて甲歎きをやめう急

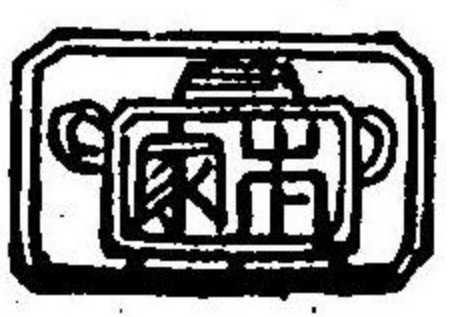
まきや女月のあ念佛をうとまよ

右之本者觀世大夫織部以章句
真本令放行畢

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都三條通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治廿六年二月十七日印刷

明治廿六年二月同日訂正出版

明治廿六年三月九日別製本御届

定價三錢五厘

東京市麹町區飯田町四丁目吉番地
宮内省御用達

訂正者 觀世清廉

板權 所有

發行所 京都市上京區三條通御幸町草子番
兼印刷者 檜常之助



